

神にかみ従したがう人ひとのためには 光ひかりを
 心こころのままっすぐな人ひとのためには 喜よろこびを
 【主しゅは】種たね蒔まいてくださる。



—— 聖書せいしよのうた (詩編しへん 97編へん 11節せつ)



2014. 7
 (通巻第80号)
 発行犬: スヌ校長



美しいもの、高価なもの、目では見えないもの、
 自然のもの、人工のもの、いろいろありますが、
 本当に大切なものとは何でしょうか。
 日々の出来事に一喜一憂したり、
 良かったものが古びていたりする中で、
 いつまでも変わらないものとは何でしょうか。
 わたしたちが生きることに
 意味を与えてくださるお方がいます。
 わたしたちの命の与え主である神さまです。
 主を信じる人は、光の子。
 主のみこばを受け入れる人は
 主のくださる喜びに満たされています。

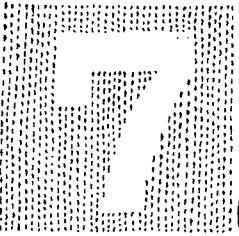
【ヨハネ 12章36節
 エペソ 5章8節
 イテサロニケ 5章5節】

よい子のみなさん

8月号は
 気長に待とう



27日	25日	20日	13日	6日	3日	1日
年間第17主日	聖ヤコブ使徒	年間第16主日	年間第15主日	年間第14主日	聖トマ使徒	福者ペトロ・岐部司祭と殉教者
主日みどり緑	主日みどり赤	主日みどり緑	主日みどり緑	主日みどり緑	主日みどり赤	主日みどり赤

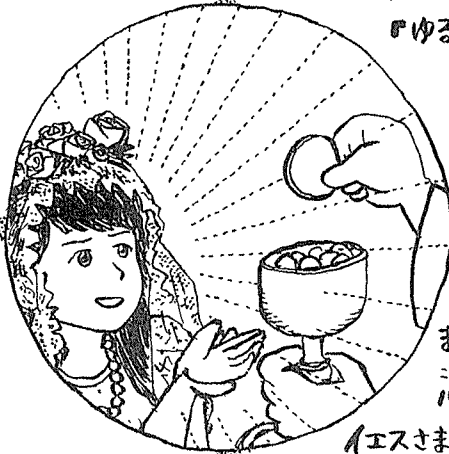


はっせいたい

おめでと

えんかわ さ ら しょう
サラ 圓川 真白 さん (小2)
みずの しょうすけ
ペトロ 水野 翔介 くん (小2)

この日は朝9時に来て、はじめての『ゆるしの秘跡』



を
受けて

ふたり

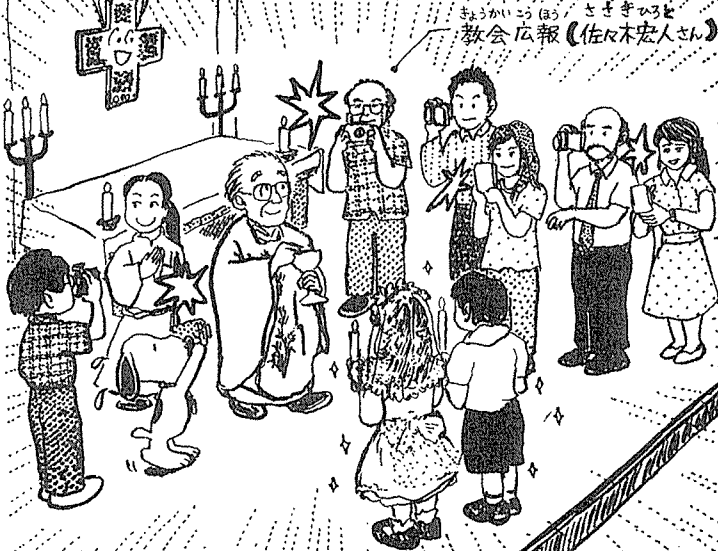
まっしろな
こころ
心になって
わか

イエスさまをお迎えしました!

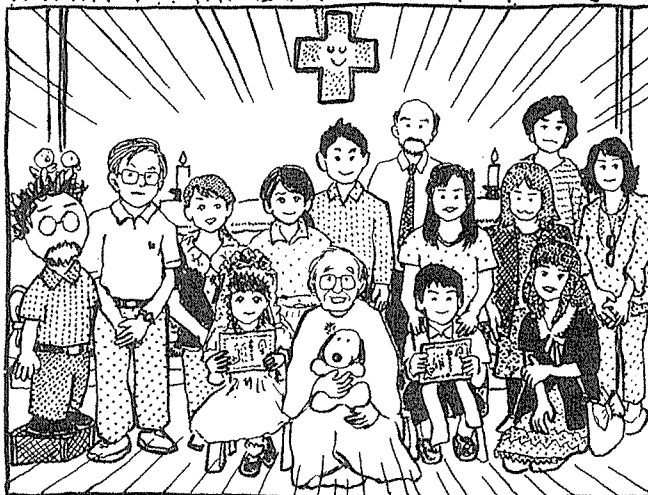


キリストのからだ——アーメン!

教会広報(佐々木宏人さん)



ビデオカメラに スマホのカメラ、
犬^{いぬ}まで「デジタル」持^もってきました😊
たくさん^{はじ}のカメラに囲^{かこ}まれて、
どきどき、初めての「聖体^{せいたい}拝^{はい}領^{りやう}」です。



みずのゆうまき 水野佑樹さん
 せえ子お姉さん

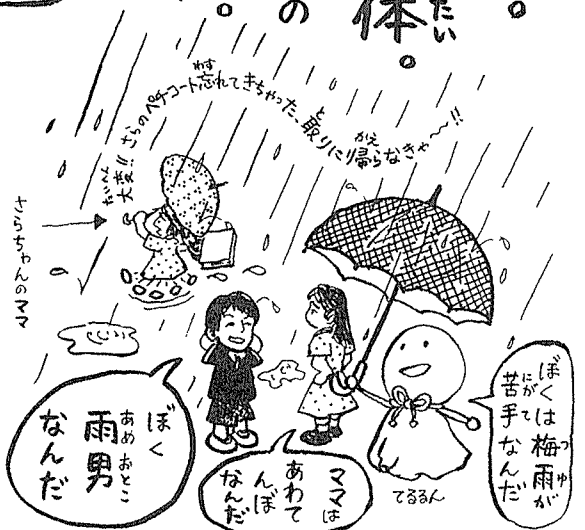
みずの
かある

(しよ) おばあちゃん
 (しよ) おじいちゃん
 まりこさん
 としむこさん

水野薫さん
しょうすけくん
きしんふさま
岸神父様と

ニうちよう
校長

六月二十二日(日)はキリストの聖体の祭日でした。
 荻窪教会ではさくらちゃん・しょうすけくんの初聖体。
 雨模様のお空もなんのその！あふれんばかりの
 お恵みに、教会は晴れやかな空気で満たされました。



雨男
なんだ

なん

ほくはつめいう
にがてな
苦手なん

侍者

おかだ 岡田のぞみさん、たかた 高田けいやくさん、ふくやま 福山むねはるくん



ふたりともよく練習して、はきはき上手に読めました。

朗読

おかだ 岡田こたまさん
たかた 吉村ゆうさん



ミサでの
ご奉仕

ありがとう!

きょうどき 共同祈願

おかだ 岡田ひかりさん

よろこび いっぱい

神よ、あなたは
万物の造り主
ここに供え
パンとぶどう酒は
あなたから
いただいたもの
大地の恵み
労働の实り
わたしたちの
命の糧
となるもの
です

ミサでは
毎日 神さまに
生かされていることを
心に受け止め
感謝
します。

マジカルアイ
の
スーパ
3Dを
やるの?

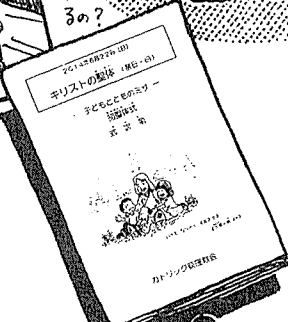


ミサと
ご聖体とは
切り離すことが
できません。

お恵みは
ひとりじめ
しないで、

イエスさまのように
あた
与える人に
なってください。

神父さまの
お説教より



スヌ校 ちゃんへ

はつせい体のパン、おいしか
ったです。わたしは、とても
きんちょうしました。プレゼントで
もらったひつじちゃん、せいじのマ
ンガがかわいかったです。お前
はもうおめしました。メリーちゃん
でも、せいじのマンガもちゃんと
読んでいます。またパンをたべたい
です。



せいじのマンガや『こもれび』で、
イエスさまのみことばに、一層親しもうね。

ごせい体は、ういしぎなあ
じでした。
水野翔介

はじめは、ご聖体よりも
神父さまの、よしよし、がいい
と言った。しようすけくん。
ミサの後の、お祝い会では、ご聖体の味を
どう表したらいいか、ずっと迷っていましたね。
ふしぎな味……イエスさまの、優しい心、が、つまった味です。
心の中に、きてくださったイエスさまと、たくさんお話してね。



BEFORE



よしよし、
祝福の
ことね

お祝い会が、すんで、着替えた後、
ボールを思いやり蹴って、サッカーして、たのしかったです。
きつと朝からの、緊張が、ほぐれたのでした。
イエスさまも、朝から、きんちょうして、たのしかったです。
でも、すぐ、仲良しになれたでしょ?!



×イリーちゃん
さらちゃん
なかよくね♡

種を蒔く人のたとえを聞きなさい。

【イエスのことば】
マタイ 13 章 18 節

【マタイ 13 章 1-9 節】

その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。すると、大勢の群衆がそばに集まってきたので、

イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆は皆、岸边に立っていた。

イエスはたとえを用いて彼らに多くのことを語られた。

種を蒔く人が種蒔きに出て行った。



ガリラヤ湖

Seeds that fell on the path



道にまかれた種は、悪い鳥がみつけて、ごちそうさまもいわず、盗んでたべた。神のことば聞いても、無関心な人は、曲豆かな命の実を結ばしない。

Seeds that fell on rocky ground



石地におちた種は、すぐ芽を出したけれど、日照りがつづいたら、枯れてしまった。神のことば聞いても、曲豆かな命の実を結ばしない。



【同 18、23 節】

「イエスは言われた。だから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。だれでも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。」

道端に蒔かれたものとは、こういう人である。石だらけの所に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて、すぐ喜んで受け入れるが、自分には根がないので、しばらくは

曲豆かな命の実を結ばしない。

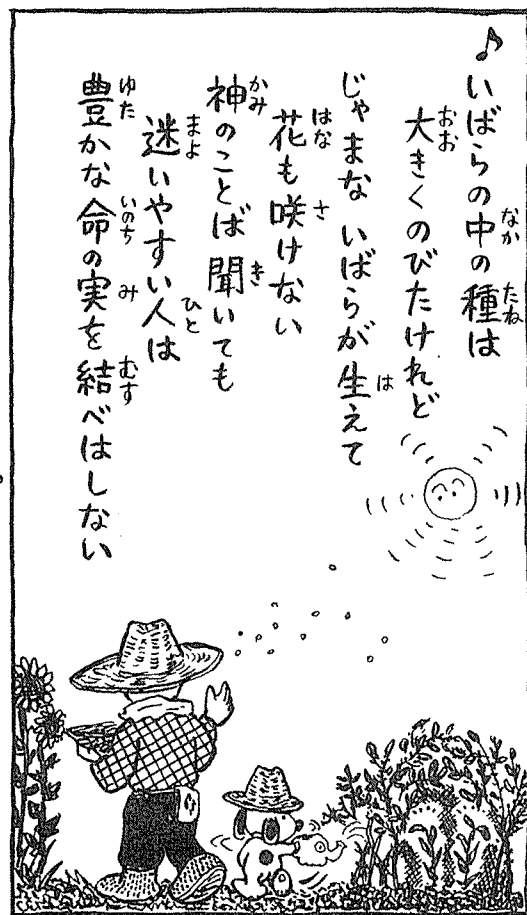
（作詞 = 山内修一）より

「4つの種」

「友よ歌おう」 70 番
（いのちのことば社）



詩^{うた}にいてる間^まに、ある種^{たね}
は道端^{みちばた}に落ち、鳥^{とり}が
来て食^たべてしまった。ほか
の種^{たね}は、石^{いし}だらけで土^{つち}の
少ない所^{ところ}に落ち、そこは
土^{つち}が浅^あいのですぐ芽^めを
出^だした。しかし、日^ひが昇^{のぼ}る
と焼^やけて、根^ねがないために
枯^かれてしまった。ほかの種^{たね}
は茨^{いばら}の間に落ち、茨^{いばら}が
伸^のびてそれをふさいでし
まった。ところが、ほかの
種^{たね}は、良い土地^{よきち}に落ち、
実^みを結^{むす}んで、あるものは
百倍^{ひゃくばい}、あるものは六十倍^{ろくじゅうばい}、
あるものは三十倍^{さんじゅうばい}にもなっ
た。耳^{みみ}のある者^{もの}は聞^き
なさい。』



♪ いばらの中の種^{たね}は
大きくのびたけれど
じゃまな いばらが生^はえて
花^{はな}も咲^さけない
神^{かみ}のことは聞^きいても
迷^{まよ}いやすい人^{ひと}は
豊^{ゆた}かな命^{いのち}の実^みを結^{むす}べはしない

Seeds that fell among thorns



♪ よい地^ちにおちた種^{たね}は
やがて季節^{きせつ}がくると
豊^{ゆた}かな命^{いのち}の実^みを
枝^{えだ}にみのらす
神^{かみ}のことばの中^{なか}で
育^{そだ}てられる人^{ひと}は
豊^{ゆた}かな命^{いのち}の実^みがたわにみのる

Seeds that fell on good soil

イエスさまの時代^{じだい}のパレスチナ地方^{ちほう}では、畑^{はたけ}に種^{たね}を蒔^まくとき、
土^{つち}を耕^{たが}したりしないまま、広く種^{たね}を蒔^まいていたのだそうです。
イエスさまは、聞^きく人^{ひと}によくわかる譬^{たと}えをお使いになったのです。

つづ
続^{つづ}いても、御言葉^{みことば}のため
に艱難^{かんなん}や迫害^{はくがい}が起^おこ
ると、すぐにつまずいて
しまふ人^{ひと}である。茨^{いばら}の
中に蒔^まかれたものとは、
御言葉^{みことば}を聞^きくが、世^よの
思い煩^{わづら}いや富^{とみ}の誘惑^{ゆうわく}が
御言葉^{みことば}を覆^{おほ}いふさい
で、実^みらない人^{ひと}である。
良い土地^{よきち}に蒔^まかれた
ものとは、御言葉^{みことば}を
聞^きいて悟^{さと}る人^{ひと}であり、
あるものは百倍^{ひゃくばい}、あるも
のは六十倍^{ろくじゅうばい}、あるものは
三十倍^{さんじゅうばい}の実^みを結^{むす}ぶので
ある。』

『聖書^{せいしよ}の引用^{いんよう}は日本聖書協会発行
『聖書・新共同訳』による。』

すすすす
 進み出しましたよ！
 朗読奉仕者が
 祭壇に
 ミサは
 ことばの興礼
 です。
 ほら、
 ニミから
 みなさん。
 さてさて、

わたしたちは座^{すわ}って
みことばを聞^ききます
★座^{すわ}るのは、
立^たっているのが
しんどいからではなく
やるやる
どっこい
しよ
足をぶらぶらさせて
おそふためでもなく
落^おち着^ちいた心^{こころ}で
みことばを聞^きくためです。
よい次女^{しせいの}がいてね。

年間第15主日 人々

ミサでみことばが朗読されている間は、閉じてしましよう。

便利な冊子があるの？

聖書の朗読箇所は、もちろんのこと、用語の解説もあって便利。

みなさんおなじみ『聖書と典礼』

《オリエンス宗教研究所発行》

大^{おと}人^なの^{かた}方^へへ
 ▶ 耳^{みみ}の不自^{ふじ}由^{じゆう}な方^{かた}のため^に、みこ^{みこ}とば^{とば}を
 女^め字^じにしてスクリー^{うう}ン^だに映^{うつ}し出^だすことがあり
 ますが、あくまでもそれは補^ほ助^{じょ}的^{てき}なもの
 で、皆^{みな}が見^みるため^にではありませ^なせん。
 ▶ そもそも文字^{もじ}は、正^{ただ}しく記^き録^{ろく}するた^ために便^{べん}利^りです
 が、こ^ことば^{とば}の^のも^もつ機^き能^{のう}すべ^べてを代^{だい}行^{こう}するも^もの^ので^では
 ない^{ない}の^のです。
 ▶ 『聖^{せい}書^{しよ}と典^{てん}礼^{れい}』や式^{しき}次^じ第^{だい}に印^{いん}刷^{さつ}され^れたみこ^{みこ}とば^{とば}は、
 ①ミサの^ま前^{まえ}の^{こころ}心^{じん}の^{しん}準^{じゅん}備^びに②司^し祭^{さい}の^{せう}説^{せう}教^{きやう}を^き聞^きく時^{とき}の参^{さん}照^{しやう}
 ③ミサの^{おと}後^ごさ^{ふか}ら^{あじ}に^{やく}深^{ふか}く^だ味^みわ^わた^ため^に、役^{やく}立^だて^るも^もの^ので^です。

せいしよ
聖書のことばは
たえ頭で
あたま
あすか
おも
難しいと思つても、
せいれい
はたら
聖霊の働きに
おまかせして
こころ
心をひらき、
みみ
かたむ
耳を傾け
ましよう。

つづく

おきかたむ
耳を傾ける？



12
 みことはを聞こう
 ことばの典てん礼れい(その1)

こうゆう
スヌー校長
ミサのこと
もっとおしえて

いっしょに
まなぼう
ミサのこと
12

ここでひとつ
大事なこと
があるぞよ

朗読されてるみことはよく聞こう。聞きながら字を目で追ってはいならない。

えーなんでー？

めっ井

出た！
カマリエル先生

[illegible]

7月生まれのおともだち

Klappy Birthday
おめでとう

- はっはっは (2日)
- 高田 はるやくん (3日)
- 勝田 美紀さん (11日)
- もぐもぐもぐ (21日)
- えー わたしもー? (26日)
- 岡田 ひかりさん (27日)
- 清水 こうたろく (27日)
- 斎藤 まゆ (28日)
- おほほほ (28日)
- ※ 名前が伏せてあって、イラストにな
てる人には年齢尋ねないように!!

LETTERS
おたより

STAMPS
郵便切手の
ご寄付

SPECIAL THANKS TO
ありがとう

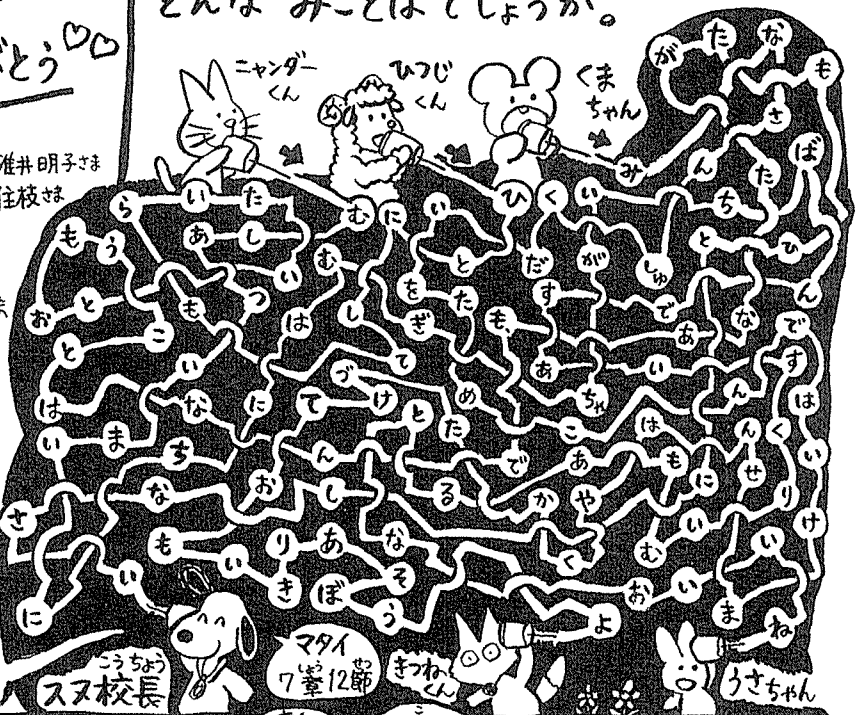
佐藤治郎さま Sr 碓井明子さま
まみさま Sr 藤原住枝さま
島田由紀さま
Sr 鳥子さま
Sr 北川亜佐美さま
多田 みゆきさま
多田 めぐみさま
薄田 昇神父さま

このみ教えは、
おかし おうごんりつ
昔から『黄金律』
ザ・ゴールデン・ルール
[the Golden Rule]
と呼ばれています
おうごんりつ ちが
(黄金率とは違うよ)

聖書クイズに挑戦

vol.32

イエスさまの みことばを スヌ校長に聞かせて
いるのはだれでしょうか。そして、それは
どんな みことばでしょうか。

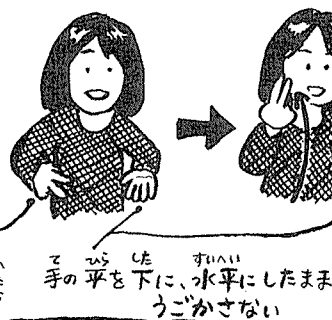


ぼくも手話でひとこと

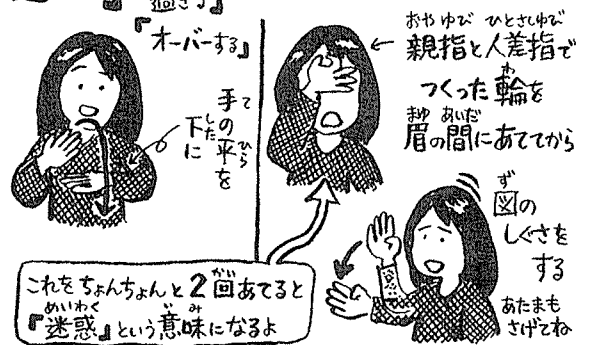
7 この場を
お借りして...

しめきりに
おこ
遅れて
ごめんなさい

チョキ (はさみ) の
かたち



「遅れる」「越える」「過ぎる」「オーバーする」「ごめんなさい」



ボケーッしないぞ
ボーンするのだ

スヌ校長式健康法

Act Now!

6/24 三鷹市調布市の一部
大量のひょうが降り、まるで
雪がふもったみたいになった



※ 雪とは主に夏の初め、突然降ってくる氷の塊 (日本海側では冬にも)。大きなものが当たると大けがしたり、命にかかわることもあるので要注意。ちなみにはスヌ校長がイメージしているのは雪豹です。それはそれで大変。

ああ カモメ

あんなに白く輝いている

わたし カモメに

なれるでしょうか

青空にのびやかな

詩をかいて

翼まかせに 生きてみたい

気持ちがずんて痛む日は

カモメになりたい わたし

貝からは

耳の形のすなおなカーブ

わたし すなおに

なれるでしょうか

こんにちは ありがとう

ごめんなさい

そんなことばで 生きてみたい

さらさらこぼれる 砂のように

すなおになりたい わたし

また光る

灯台守のやさしい灯り

わたし 灯りに

なれるでしょうか

控えめに けれど強く

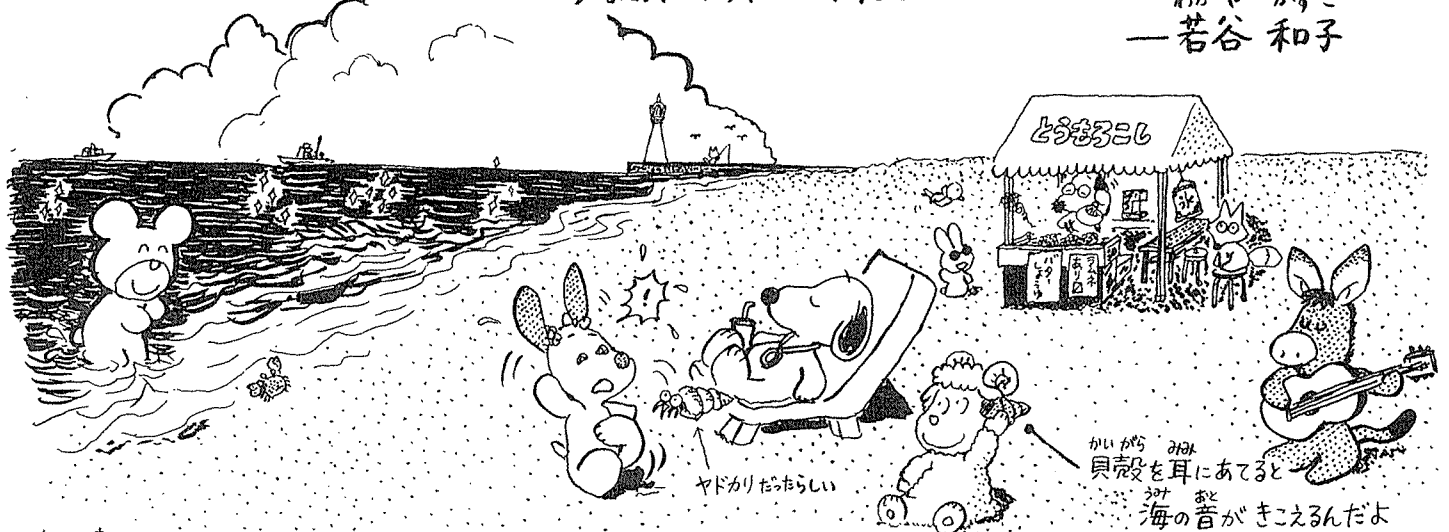
またたいて

闇に負けずに 生きてみたい

小舟の心が わかるから

灯りになりたい わたし

わかや かずこ
—若谷 和子



『海へ来て』というこの詩は1984年に『NHK みんなのうた』で歌手・森昌子さんの歌声で全国に紹介されました（作曲・森田公一さん）。海をモチーフにして、『わたし』の望みをこんなに豊かにうたいあげる言葉の力に驚かされます。作詞者である若谷和子さん（1943～）は詩人・作詞家としてご活躍、グリムやアンデルセンの童話絵本の文を書いたりもなさっています。『せかいーじゅーう たれだーあーって ほほえーめーば なかよーしーさ... It's A Small World（小さな世界）』の訳詞者でもあります。



だもにんじん
だもの

一本でも にんじん
二足でも サンドル
六羽でも 七面鳥
七匹でも ハチ
九杯でも ジュース
十個でも イチゴ、だそうです。
八月に届いたとしても、
六月号の次ならそれは七月号。
だって一本でも にんじん だもの。

※『こもれび』バックナンバーは、インターネットで見えね

※『こもれび』バックナンバーは、インターネットで見えね

おぎくぼ まようかい 〒168-0072 杉並区高井戸東4-18-13 毎月第1・第2・第3日曜
カトリック荻窪教会 ももし 03-3334-8216 (FAX-8261) 10時のミサのあと
主任司祭= 岸 忠雄 神父 主日のミサ= 7:30~/10:00~ <http://www.kotonanoki.com/>